

むくのきだより 1月号



令和4年1月11日 港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人

日本の伝統・文化に親しもう

園長 宮崎 直人

新年明けましておめでとうございます。昨年は、本園の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。また、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。

今日から3学期が始まり、にぎやかな声が幼稚園に戻ってきました。子供たちが登園し、元気に挨拶をする姿や子供たちの生き生きとした表情から、充実した冬休みを過ごすことができたことが分かりました。保護者や地域の皆様方のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、先月は、発表会や様々なゲストを招いてのお楽しみなど、盛沢山な1か月でした。

12月18日(土)には、表現遊びの発表会「あかばねげきじょう」を行いました。感染症予防を考慮して、小学校の講堂で実施しました。いつもの遊戯室とは違う広くて舞台のある講堂での実施でしたが、子供たちの伸び伸びとした表現を見ていただけたことと思います。さくら組は、劇「すてきなぼうしやさん」の中で、自分の好きなものになりきって動くことや、友達とやり取りするを楽しみました。これまでの園生活で楽しんできた内容を劇に取り入れたことで、一人一人が自分の好きなことを十分に楽しみ、また、友達と一緒にすることも楽しむ、というさくら組全体としてのつながりが感じられる劇でした。

ゆり組は、劇「うらしまたろう」を行いました。友達と相談しながら、言葉や動きを考えたり、大道具を作ったりしながら表現活動を工夫し、作り上げていきました。ストーリーも自分たちでアレンジして、ゆり組らしいほのぼのとした展開になりました。本番では効果音から大道具の移動まで、一人一人が役割をしっかりと行って、素敵な劇に仕上がりました。また、ゆり組は、和太鼓「てのひらをたいように」の発表も行いました。講師である地域の元神明宮の宮司、青木さんから教えていただいたことを生かして、皆で音と気持ちを揃えることに気を付けて演奏しました。真剣な表情で頑張る姿をご覧いただけたのではないかと思います。保護者の皆様には、温かい拍手と、会場の設営や片付けへのご協力をいただき、ありがとうございました。



日には前後しますが、11月25日(木)に、人形劇団「ひとみ座」が幼稚園に来てくれました。楽しい人形劇に、みんな大喜び。子供たちは劇中の歌を気に入り、歌いながら帰るほどでした。次の日に、人形劇で楽しかった「まるまる さんかく しかく」を年少さくら組でもやってみました。



11月30日(火)は、今年度3回目の太鼓の会でした。この日は講師の青木さんに、子供たちから太鼓に関する色々な質問が出ました。「白いところは牛の皮なんだよ。」など、丁寧に教えて頂きました。

12月3日(金)は、親子園庭散策を行いました。NHK「ダーウィンが来た」にも出演されているプロ・ナチュラリストの佐々木洋先生をお招きして、園庭を散策しました。冬の園庭にもいろいろな生き物が棲んでいることを教えていただきました。

12月6日(月)は、幼稚園でもちつき会を行いました。皆、やる気満々で、「よいしょ！よいしょ！」と言いながら、楽しく、力強くお餅をつきました。ついたお餅は、鏡餅にして、玄関に飾りました。準備やお手伝いをしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

12月10日(金)は、子育てサポート保育「むくのきクラブ」のミニコンサートに、「ビューティフル ハミングバード」のお二人が来てくれました。ボーカルの小池光子さんは、高田副園長先生のお友達だそうです。高田副園長先生も、お二人と一緒に素敵な歌声を披露してくれました。心地よい音色に、心が温まるひとときでした。



12月21日(火)は、2回目の剣道教室を行いました。年少さくら組が初めて竹刀を持ち、正座や「面」などに挑戦しました。降園後は、都立三田高校からダンス部の皆さんがパフォーマンスをしに来てくれました。「あわてんぼうのサンタクロース」を一緒に踊って楽しみました。

12月23日(木)は、マリンバ奏者の田村佳代子さんをお招きして、季節のコンサートを楽しみました。マリンバの優しい音とハーモニーが心地よいひとときでした。演奏後には、マリンバを近くで見せていただきました。



そして、年末・年始には、日本に古くから伝わる行事が様々ありました。

冬休みに入ってから、除夜の鐘を聞き、お正月には初詣に行った子供たちも多いのではないのでしょうか。門松、鏡餅、しめ縄等のお正月飾りや餅つき、年越しそば、おせち料理、七草粥といった食事を楽しんだり、凧揚げ、こま回し、羽根つき、かるた、双六、お手玉等のお正月遊びを楽しんだりした子供たちもいることと思います。

中でも、ゆり組は、「木ごま」に挑戦しています。紐を巻くのがなかなか難しいのですが、コツをつかむと、集中して丁寧にこまに巻いて、ちょっぴりドキドキしながら回していました。

私も子供の頃に、こま回しに夢中になって遊びました。子供たちと一緒に楽しみながら、その当時の頃を思い出しました。うまく回らなくても、何度も何度も練習して、できるようになったときの喜びはひとしおでした。赤羽幼稚園の子供たちにも、一生懸命練習し、夢中になって遊ぶ経験をしてほしいと思っています。そして、子供たちが日本の伝統・文化のよさをより一層感じ、日本の伝統・文化に親しんでほしいと思います。

今年も、子供たちが、元気に、楽しく幼稚園での生活を送ることができるように保育を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本年も、本園の教育活動への、より一層のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。